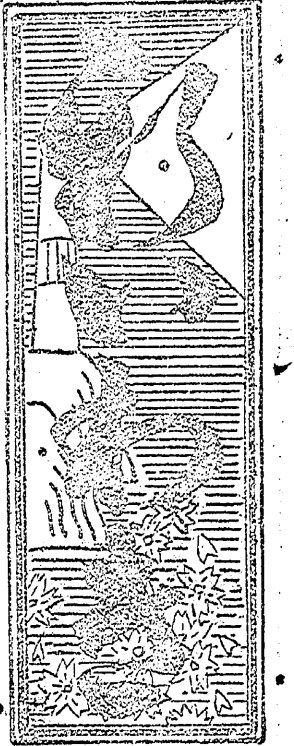


(日一十月三年五和昭)



### 年頭の辭

昭和六年を送つて昭和七年を迎へた吾が新しい  
 わき新聞は茲に漸く二歳の年を重ねた、迎年の  
 の胸中無量の愉快は唯單なる傳統的感懐では  
 ない乾坤一轉の清淨に敗者も敗を知らず勝者  
 も勝を語らず千門萬戸松竹の緑の中に祝ひの  
 維養を鼓腹し交換の屠蘇に笑聲湧く、新光に  
 浴して新しい勇氣と新しい覺悟を以て、謹ん  
 で國家の隆昌を祈禱し各位の幸福を祝福する  
 顧みる昭和六年は前代未聞の不景氣に國民  
 生活を極度に壓迫し加ふるに滿州事變を控へ  
 て内憂外患に非常なる錯綜であつた、而かも  
 未だ支那兵匪馬賊の狂暴は鎮まらず更に日華  
 直接交渉によつて吾が權益を確保すると否と  
 は今後に屬し民政黨内閣瓦解して政友會内閣  
 に移つた經濟政策の金輪再禁止により急激な  
 る波紋を起した財界に安定を見る能はざるも  
 のありて國家は益々多事多端である、  
 國策の確立は勿論政府者の方にまつ所多し  
 とするも國民が常に只徒らに政權を狙ふもの  
 に迷ふなく確然たる認識を以て正邪を辨別し  
 舉國一致國難の打開に即して絕對に足並のみ  
 だれざる力がより強くより大である  
 年頭に所しての覺醒奮起は此の意氣の充満  
 せるもので年と共に功果を大にし年と共に展  
 開して行く社會はまさに斯の如き人を望む、  
 年と共に新ならず年と共に退歩し年と共に老  
 老し年と共に小なるは、新年を語るに足らざ  
 る人である、  
 本紙は小なりと雖も此の覺悟を以て新しき  
 日に第一歩を進めた、此の意氣に満を持する  
 社同人の奮闘をして更に大ならしむべく御指  
 導と御援助を愛讀者各位に望む次第である。

### 年頭ノ所感

平町長 伏見彦衛  
 乾坤一轉に昭和七年を迎へるに  
 ふ静かに昨年を回顧すれば  
 財界の不況益々深刻を加へ  
 國家地方共に未曾有の財政  
 難局に遭遇し國を擧げて其  
 の打開に苦心せるの秋矣如  
 滿州事變起り我が忠勇なる  
 皇軍の將士今や滿州の曠野  
 に身命を賭して匪賊を掃蕩  
 しつゝあり更に英國の金本  
 位制停止は我が産業金融に  
 甚大なる打撃を與へ我が國  
 をして再び金輸出禁止を見  
 るに至らしめ内外共に國民  
 の最も緊張を要するの年で  
 ありました嗣て本町自治の  
 跡を觀るに昨年は實に多事

の完成と共に更に企圖して如上の事業を具體化し本  
 く實施すべき事件多しとせ同發展を期し昭和時代の鴻  
 夢即ち産業博覧會の開催、恩に答へ奉らんことを期し  
 國道舗装の實現、尼子線開通、恩に答へ奉らんことを期し  
 橋の架換の促進、縣議會の改選、恩に答へ奉らんことを期し  
 支那の建設に六期門橋梁、滿州に在りて嚴寒を意とせ  
 の改築、商業學校の移管、公營暴虐不逞の匪賊を討伐し  
 堂の建築、計劃等に重要のつゝある我同胞將士の勇猛  
 事項であり是等の事業は懸案敢なる偉勳を思ひ其の勞  
 の施設及補助と町の發動と苦を慰問したいことであり  
 經營とに依りて實現し得る  
 ます之が爲め一日の名刺交  
 換會に諮り其名を以て本町  
 町會議員諸君町民諸君の協  
 助と努力と發動とに依りて  
 自治の機能を圓滿に發揮し

謹賀新年  
 鈴木 秀雄  
 小野 光男  
 島田 春夫  
 植田 支那  
 半谷 政喜

印刷部  
 鈴 木 實  
 鈴 木 秀雄  
 小 野 光男  
 島 田 春夫  
 植 田 支那  
 半 谷 政喜

多端年頭に助役の故障あり  
 多端年頭に助役の故障あり  
 多端年頭に助役の故障あり  
 多端年頭に助役の故障あり

貧困のため生活し能はざる法律の眼目となつてゐる、  
 者、精神若しくは身體上を以て此の恩典に浴したい  
 の障害又は幼弱老衰出産のと思ふ人は次ぎのやうな心  
 ため勞務を行ふことの出来場が肝要である  
 ぬ者を救護するために設け  
 られた新しい救護法は愈よ  
 昭和七年一月一日から實施  
 されることとなつた、これ  
 を細かく掲げると  
 一、満六十歳以上で老衰  
 してゐる八二、満十三歳  
 以上の子供三、お産をす  
 る婦人、乳兒を抱へてゐ  
 る母親四、不具廢疾、疾  
 病、傷病その他精神に異  
 常があつたり又は身體に  
 故障があつたりして勞務  
 の出来ない人  
 等をのみ救護するのが此の

### 正月元旦から一 實施される救護法 希望者の條件と注意二三

<p><b>磐城炭礦株式會社</b>        石城郡内郷村        本炭移出問屋        草野米彌商店        磐城東線 小川御驛前</p>	<p><b>磐城共濟病院</b> (電話 六四一)        院長 石山謙郎        院長 賀澤忠治</p>	<p><b>石城郡銀行</b>        (酒井の) 醸造元        大平睦四郎        石城郡勿來町        電話五七番</p>	<p><b>佐藤留藏</b> (石城郡内郷村)        浪花炭礦        常磐線 磐城驛前        公認 日野運送店        日野はな        常磐線 平野驛前  <b>平運輸株式會社</b></p>
--	---	--	---







### 果樹 着手に當るべき注意 (三)

果樹の栽培は元來廿世紀はよく育ち、花芽が着いて数多く結実する品種故に毎年豊産を望むるならば長十郎や早生赤の倍の肥料をやらねばならぬ。樹勢が弱ると特に病害にも罹り易くなるから肥培に注意する必要がある。又排水の悪い所或は地下水の高い所に特に黒班病の發生が甚しい。樹勢が弱ると病害に罹り易くなるから肥培に注意する必要がある。又排水の悪い所或は地下水の高い所に特に黒班病の發生が甚しい。樹勢が弱ると病害に罹り易くなるから肥培に注意する必要がある。又排水の悪い所或は地下水の高い所に特に黒班病の發生が甚しい。

### 目ざましの發展振り

#### 濱通り木炭同業組合

#### 中央市場に壓倒的の聲價

#### 前年より卅五萬俵増加

濱三郡木炭同業組合に於ける昭和五年末以來不景氣の近年の發展は實に目ざましいもので製造技術並に儀装の改善等各段の面目を上げて東北の名産地である宮城、岩手、青森の三陸ものを凌駕する所となり中央市場に幾分距離な

地地利を占める茨城縣に於てすら日頃恐るべき強敵であるを唱ひてゐる二六五二俵に比較すれば

概な特に外觀の優美なもの三十五萬六千八百四十七俵を望む品種は(いなさ)の産らない所を採んだ方がよい。但し之れは濱通り地方に於てのみである。

### 増加を 見せ来る三

月末日までの本年度見込高白八十萬俵を前年度の百四十三萬一千五百五十五俵に比し約三十五萬五千俵を増加するものと云はれてゐる。而して此の生産は西都

### 一帯に 大森林を有

する濱通り三郡が輪伐法の確立なる計算から永久に産するものでなしと唱ひられ中央市場に於ける隅田川。新宿、秋葉原、北千住を初め千葉、群馬、埼玉その他大需用地に聲價を博してゐる。

### 現勢を は一層絶對

的の信用を獲得すべく製炭の改良に力を注いでゐる組合員の現在には二千五百餘名で昭和五年年度の二千四百二十九名より百名弱を増加し去る大正十一年十一月

### 縣當局 の指導勸説

に基づき平劇場に創立總會を擧げた當時の八百餘名に較ぶれば實に三倍するに至つた斯の如き隆盛を見つゝある原因は検査済の

### 木炭が 質に量に一

般消費者にも不安なしとされ従て業者にも組合に加盟する等の有利を覺られて來た爲で年産額百萬圓に垂んとする同地木炭の將來に非常な注意を拂はれてゐる

### セロン防火劑東北發賣元

社主 櫻井清  
外社員一同

平町白銀町一五

平町なかや洋服店(電話三〇三番)

三三三三屋肉店

平町田町 齊藤敏實

石城郡 伊藤一

製綿御開屋 吉村安次郎

平町研町 電話二五七番

精米 業 荒川恒次郎

町會議員 久保町

町會議員 吉田寅之輔

平町紺屋町 電話四七六番

家具製造 荒川淺次郎

平町六丁目

最新 會津桐材 小松はさき物店

流石 自製専門 電話六七三番

山崎 磐城 平町

合名會社 電話十番

田町 アヅマ美容院

電話三四五番

石城郡夏井村 青木清太郎

矢内シゲ

平町 會田美髮所

電話四四四番

二丁目 會田美髮所

電話四四四番

銘酒 稻妻 古川傳一

石城郡植田町電話一六番

銘酒 小錦 鈴木喜太郎

石城郡高久村

銘酒 白萩 白萩支店

平町 電話四四三番

銘酒 正宗 小野晋平

石城郡飯野村

伊藤淺之助

石城郡錦村

山崎 登

石城郡畜産組合長

安島重三郎

石城郡山田村

賀正 鈴木榮

石城郡小名濱町

中島寫眞館

平町 電話四六五

平町 球場

(マント撞球場改め)

有煙石炭 業高橋商店

木材販賣 龜松商店

静岡本場 卸小賣 小笠原茶

大角商店

平町 電話三一五番

明雲堂眼科醫院

平町 電話六六九番

株式會社 社長 金成通

平町 三井吳服店

電話二八四番

平町 三井自動車部

電話一九九番

大谷時計店

平町 電話三〇七番

磐城平町 料理屋組合

平町 電話四二二

平町 青木寫眞館

南町 電話四二二

旅館組合

平町 電話四二二

良品廉賣

平町 電話四二二

優る商略なし

三井自動車部

電話六八五

平町 三井自動車部

電話六八五